

1. 檜山管内副町長研修会での意見交換

檜山管内副町長研修会が9/29開催され（主催：檜山町村会事務局）、国土強靱化地域計画の策定について意見交換を行いました。

檜山管内は、平成5年に起きた「北海道南西沖地震（M7.8）」により大きな被害を受けた経験もあり、地域的に共通する災害リスクがあることから、管内7町合同で地域計画を策定する場合の課題や手法などを中心に説明を行いました。

全国的には、まだ、こうした合同での地域計画策定の事例がないことから、同じく7町村で策定準備が進められている鳥取県と情報交換をしながら、引き続き、事務レベルでの説明会の場を設けるなど、計画策定に向けた取組を進めていくこととしました。



檜山管内副町長研修会（北海道自治会館）

2. 国土強靱化地域計画に関する説明会の開催



国土強靱化地域計画に関する説明会
（10/11～十勝総合振興局_帯広市）

市町村が策定する国土強靱化地域計画策定支援として、内閣官房国土強靱化推進室職員を講師に迎え、十勝管内の市町村を中心に、地域で初めての説明会を開催しました。

国土強靱化の意義や地域計画策定のメリット、また具体的な策定手順として、マトリックスを利用した脆弱性評価などについて講師から説明があり、参加した17市町村の防災・企画担当職員に、今後の策定に向けての理解を深めていただきました。

また、埼玉県春日部市を例に、総合計画の改定とあわせた地域計画の同時策定や一体策定のメリットとして、策定作業の効率化や進捗管理の同時実施による効果などについても説明がありました。

次回の説明会は、11/13（月）14:00～上川総合振興局（旭川市）で開催します。

3. 国土強靱化関連施設の現地視察

10/12、十勝管内で国土強靱化関連施設などの現地視察を行いました。

【バイオマスプラント】

環境に配慮した地域循環型農業を目的とした取組として、家畜糞尿処理作業や野菜残渣処理費用の軽減、副産物である消化液の土壌改良材利用等について、またFIT法を活用した売電収入等による施設の管理計画などについて説明いただきました。



バイオマスプラント（JAおとふけ）

【河川・農地の災害復旧現場】

昨年8月、立て続けに道内に接近・上陸した台風に伴う大雨や強風等により、堤防の破堤や農地への土砂堆積・流出など、甚大な被害に見舞われた芽室川周辺の復旧状況を視察しました。

河川工事では、大雨等でのいわゆる“再度災害”を防止するため、計画流量の大幅な見直しによる河道拡幅や築堤工など、平成30年の完了に向け、概ね順調に工事が進捗しているとの説明を受けました。



芽室川災害復旧現場（帯広建設管理部）

4. 国土強靱化地域計画の策定状況

区分	全国		北海道	
	策定済	策定予定	策定済	策定予定
都道府県	43	4	1	—
市町村等	45	39	1	2

※平成29年10月1日現在（内閣官房国土強靱化推進室HPより）

札幌市が既に策定済み（H28.1）であるほか、釧路市と美瑛町が今年度末の策定に向けて、作業を行っています。

北海道では引き続き、市町村地域計画の策定促進に重点的に取り組めます。

5. サポートします。地域計画策定！

国土強靱化地域計画の策定を検討されている市町村へご説明に伺います。計画についての質問もお気軽にお寄せください。

市町村の皆様からの連絡をお待ちしています。

北海道強靱化計画

検索